

小牧市民病院における整形外科研修



小牧市民病院診療棟



整形外科専攻医1年目

当科は常勤医師12名(うち整形外科専門医9名)および代務医師3名より成り、上肢、下肢、脊椎と広く運動器の疾患・外傷を治療対象にしています。上級専門医は特殊専門外来を担当し、専門性の高い治療を行っています。また若手医師は外傷を中心に整形外科全般を対象とし、日夜研鑽に励んでいます。

ほとんどの整形外科疾患・外傷の治療は当科で行っていますが、小児整形外科疾患と骨軟部悪性腫瘍については、代務医師による専門外来や大学病院への紹介など名古屋市立大学整形外科と連携して治療にあたっています。

当院で整形外科医師を目指す研修医は、原則名古屋市立大学整形外科に入局し、約2年間専攻医として当院に勤務し、その後大学病院や他関連病院で研修を受けます。当院の専攻医研修を含め、4年間の専門研修終了後に専門医試験を受けます。以下に当院整形外科研修の特徴を列挙します。

充実したスタッフ

常勤医12名のうち整形外科専門医は9名であり、2021年5月現在専門医：非専門医の割合は3:1と指導できる医師が多く、充実した整形外科研修を受けることができます。

常勤医の中には、日本リウマチ学会指導医、日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医、日本手外科学会認定手外科専門医などの有資格医師が在籍しています。各種認定施設にも登録されており、さらに専門的な指導を受けることができます。

日本整形外科学会整形外科専門医研修施設

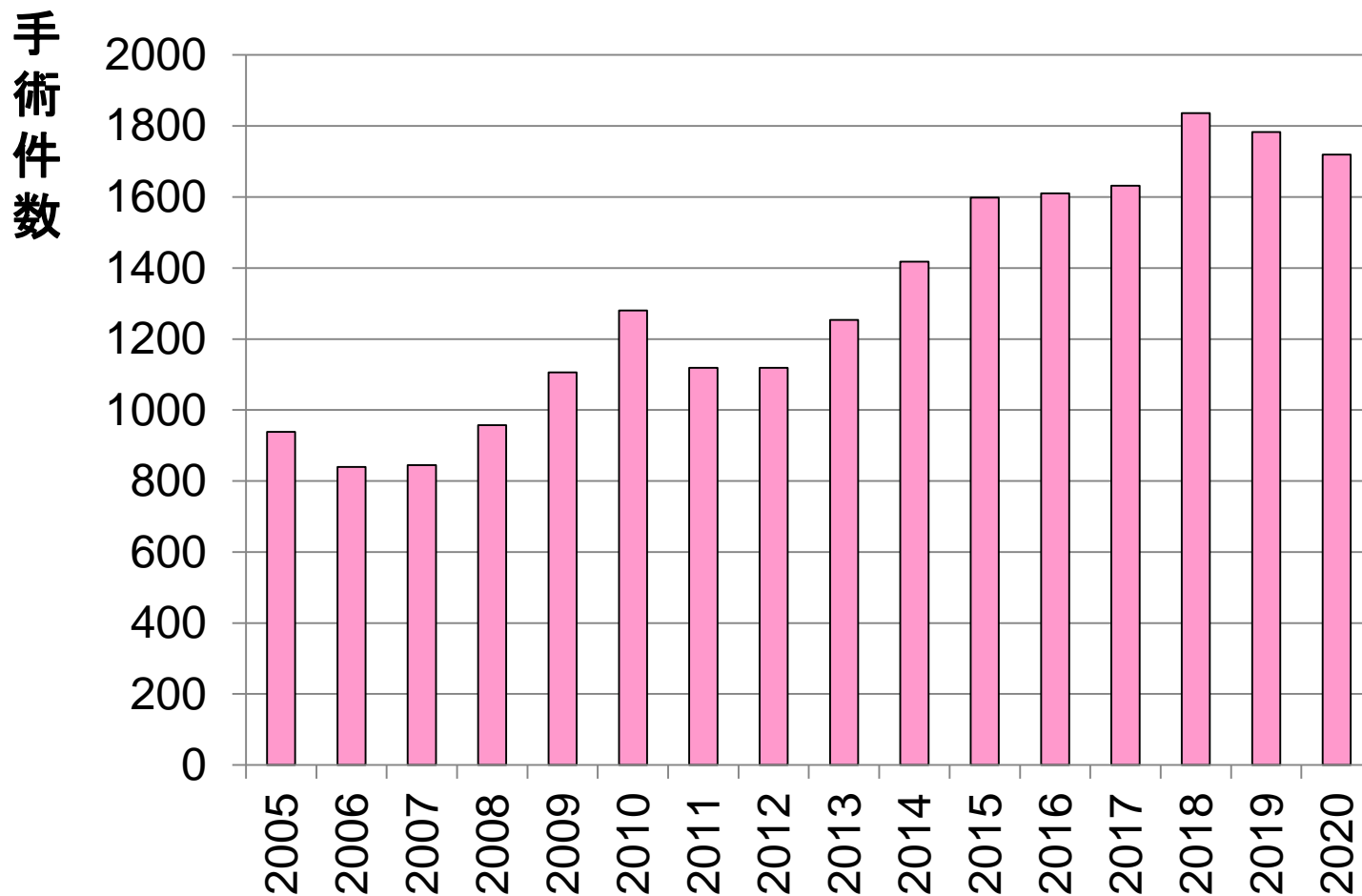
日本リウマチ学会教育施設

日本手外科学会研修施設

日本脊椎脊髄病学会椎間板酵素注入療法実施可能施設

日本リハビリテーション医学会研修施設

圧倒的な手術件数の多さ



当科の手術件数は年々右肩上がりに増加し、2018年には1800件を超えました。2019年は病院移転、2020年はコロナ禍により手術件数が若干減っていますが、それでも当院外科系診療科中トップです。

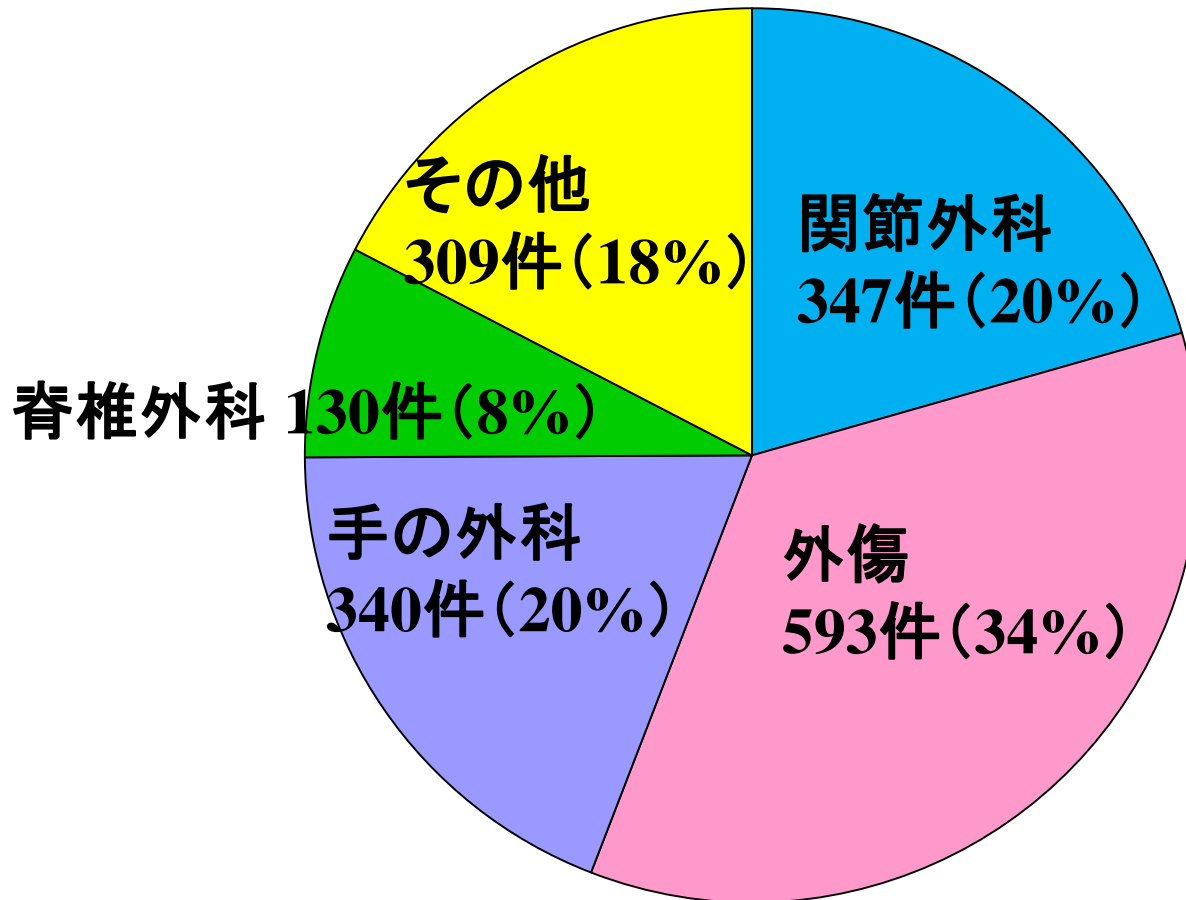
主な名古屋市立大学関連病院の整形外科手術件数

2019年



名古屋市立大学整形外科関連病院の中でも、当科の手術件数は群を抜いています。手術症例が豊富なので、研修中たくさんの症例を経験できます。専攻医1年目のH医師は最初の1年間に240件の手術を執刀しました。

2020年の整形外科手術1719件の内訳



外傷, 関節, 脊椎, 手外科などバランスよく手術を行っています.
人工関節置換術などのメジャーな手術も指導医立ち合いのもとで
比較的早期から専攻医が執刀しています.

専攻医が1人で困らないような指導体制

当直や時間外救急当番の時も2次待機医師が決まっており、専攻医が1人で困った時には指導医が必ず援助します。当科は時間外でも指導体制が整っています。



下腿開放骨折の1例

当科で研修すれば、このような重篤な外傷がERに搬送されてきても怖くなくなります。

学会発表や海外研修参加の勧め

当科は日々の診療だけでなく、学会活動も積極的に行っています。2020年には学会および研究会において41演題（日本整形外科学会学術総会4演題など）を発表しました。専攻医2年目で総会や国際学会で口演発表した医師もいます。また、現在はコロナ禍なので不可能ですが、カダバートレーニング（屍体を使った手術手技訓練）など海外研修への参加を勧め、専攻医に勉強する機会を提供しています。



シンガポール整形外科学会



国際関節鏡・膝関節・整形外科
スポーツ医学会議（カンクン）

整形外科スタッフ



2021年6月撮影

志の高い若い医師が当科で研修してくれることを願っています。